



#### IV. 施策展開の方向性

# 1. 次世代を担う子どもたちのスポーツ環境の整備

## 1.1

### 時代変化に対応したスポーツ環境の整備

少子化、核家族化、市民のライフスタイルの変化などの時代環境の変化に伴い、子どもたちの外遊びやスポーツの機会が減少しており、子どもたちのスポーツ環境を見直すことが求められている。このため、少子化により活動員が減少傾向にあるスポーツ少年団や学校部活動に対して、量・質の両面での支援の充実を図るとともに、地域と連携した子どものスポーツ環境整備に取り組む。



#### (1)

### スポーツ少年団活動等の充実

地域や大学等との連携を強化し、スポーツ少年団リーダー制度の活用や団同士の情報・交流推進などにより、学童期を中心とした子どものスポーツ活動を支える基盤であるスポーツ少年団活動を維持、発展させる。

#### 【既存施策】

スポーツ少年団の支援(スポーツ推進課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 複数の競技種目に取り組める多目型や運動の苦手な子どもを対象に外遊びの機会を提供するプレイプログラム型など、多様なスポーツ活動の機会の提供
- 体育振興会やスポーツ推進委員会活動による地域の子どものスポーツ環境の支援

#### (2)

### 地域における学校部活動の補完機能の整備

地域のスポーツクラブやトップチームなどと連携し、指導者や部員の不足で十分な活動環境が整わない中学校や高等学校の部活動を補完する仕組みの整備を図っていく。

#### 【既存施策】

中学校部活動の支援(学校教育課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 複数校の合同部活動、種目別の部活動拠点校制度、地域の民間クラブと連携した活動など、柔軟な学校部活動の運営
- 民間スポーツクラブ、トップチームクラブ等が連携した指導者の派遣などクラブ活動の運営支援

#### (3)

### トップアスリートの発掘・育成システムの整備

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催等でスポーツへの関心の高まりが期待される。この機運を活かし、運動能力の高い児童、生徒に多様な種目を体験させるなど、個々の身体能力や特性に適した競技を見出し、トップレベルの競技者として育てていくための環境を支援する。また、トップレベルのスポーツ選手育成に取組む静岡県東部地域のクラブや他市町と連携し、将来的には広域での取り組みへの発展を目指す。

#### 【既存施策】

トップアスリートの発掘・育成(スポーツ推進課)

みしまジュニアスポーツアカデミー(スポーツ推進課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 県東部のトップアスリート育成機関、競技団体、地域クラブ、他市町と連携した仕組みづくり

## 1.2 スポーツ保育(Ⅳ-1)の普及

近年、幼児期に身体を動かして遊ぶ機会が減少しており、将来的には、運動能力や体力の低下だけでなく、スポーツに親しむ資質や能力、意欲の減退にもつながる懸念がある。幼児期において、身体を動かす遊びを中心とした身体活動を十分にすることは、基本的な動きを身に付けるだけでなく、生涯にわたって健康を維持し、積極的に活動に取り組み、豊かな人生を送るための基盤づくりとなる。(Ⅳ-2)そのため、身体を動かす遊びを通して、子どもの心身の健全な発育発達を促すスポーツ保育の普及に取り組み、乳幼児が身体を動かすことの楽しさを感じられる機会の充実などの施策を推進する。



### (1) 乳幼児期の親子スポーツの啓発

乳幼児健診の機会などの活用や子育て支援機関との連携などにより、保護者に対して乳幼児期の親子スポーツ活動の重要性を啓発するとともに、スポーツプログラムを普及する取り組みを行う。

#### 【既存施策】

スポーツスタート(スポーツ推進課)  
交流ひろば(子育て支援課)  
親子で楽しむ!ふじのくにファミリー・プレイプログラム(生涯学習課)  
お父さんの子育て講座(生涯学習課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 親子スポーツ講座の充実(参加しやすい場や運営方法の工夫など)
- 親子スポーツプログラム普及団体への支援(活動場所の紹介、斡旋など)

### (2) 幼児期・学童期に楽しめるスポーツの推進

幼児期から小学校低学年まで、一貫して、楽しく、遊び感覚でスポーツ体験が楽しめる機会を提供し、スポーツ少年団活動や地域のスポーツクラブに参加していない児童のスポーツ環境の整備に取り組む。

#### 【既存施策】

体育施設指定管理者の幼児・学童向け教室(スポーツ推進課)  
民間スポーツクラブの子ども向け教室(スポーツ推進課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 幼児・小学校低学年向けスポーツ教室の充実
- 児童の放課後におけるスポーツ指導支援体制の整備
- スポーツ保育等の活動への支援

### (3) 幼稚園・保育園等との連携

幼稚園、保育園等と連携し、スポーツ保育実践の機会を拡充する。

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 官民協働によるスポーツ保育普及、推進体制の整備
- 学術機関との連携による運動能力の調査、研究の実施
- スポーツ保育を担う人材育成の支援

(Ⅳ-1) 2012(平成24)年3月に文部科学省が発表した「幼児期運動指針」等にそって、幼少期に運動への興味を喚起し、適切な運動能力を獲得するためのスポーツを活用した保育指導の取組み。

(Ⅳ-2) 文部科学省「幼児期運動指針普及用パンフレット」より

## 2. 暮らしを豊かにするコミュニティスポーツの推進

### 2.1 地域の絆を創る身近なスポーツ環境の整備

学校の施設開放や公民館など、日常生活に身近なスポーツの場をより活用できる仕組みを整備し、地域における幅広い世代のスポーツ活動を推進する。



#### (1) 学校体育施設開放の仕組みの充実

教育委員会、体育振興会や利用スポーツ団体と連携し、学校の体育施設開放を有効に活用できる仕組みと体制の整備を推進する。

**【既存施策】**

学校体育施設の開放(教育委員会、スポーツ推進課)

**【新たな取り組みの方向性】**

- 地域で学校体育施設開放の利用管理を行う仕組みづくり
- 施設の有効活用の促進(複数団体の共同利用など)

#### (2) 公民館などのスポーツ利用の促進

地域の公民館などを活用した健康体操、エクササイズなどのスポーツ関連講座やサークル活動の充実を図り、日常生活圏でのスポーツ環境の整備を推進する。

**【既存施策】**

公民館(中郷・北上・錦田・坂)自主講座(生涯学習課)

**【新たな取り組みの方向性】**

- 身近な場でのスポーツ教室などの開催支援(講師派遣など)
- 市民主体の軽スポーツ教室の奨励

#### (3) スポーツを通じた地域の絆づくり

体育振興会連絡協議会における校区間の情報共有、スポーツ推進委員との連携強化などにより、校区や自治会単位でのスポーツ活動を振興し、スポーツ交流を通じた地域の絆づくりを推進する。

**【既存施策】**

校区体育振興会活動(スポーツ推進課)

市民運動会小学校区大会助成(スポーツ推進課)

**【新たな取り組みの方向性】**

- 中・高校生の地域の運動・スポーツ活動への参加促進
- 体育振興会連絡協議会の活動支援の充実(地域スポーツリーダーの育成など)

## 2.2 幅広くスポーツ参加を促す機会や場の提供

子どもから高齢者までが運動能力や体力の差、障がいの有無に関わらず、生活環境や適性に応じて気軽にスポーツに参加できるよう、各種スポーツ団体と連携しながら、各種スポーツ大会、スポーツ教室などの場や機会の充実を図る。

### (1) 各種スポーツ大会への参加促進

スポーツ大会や既存イベントと連携した取り組みにより、子どもから高齢者までの幅広い層が、個人やグループ、家族など様々な形態で、気軽に参加できる機会の拡充を図る。

#### 【既存施策】

各種スポーツの大会補助(スポーツ推進課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 既存大会・イベントへの参加奨励や広報の充実

### (2) 多様なスポーツの体験機会の充実

スポーツに積極的に接していない市民がスポーツに参加するきっかけとなる機会を提供するとともに、市民の多様なニーズに対応し、それぞれの生活様式の中で目的に沿ったスポーツ活動が選択できる環境整備を推進する。

#### 【既存施策】

体育施設指定管理者教室(スポーツ推進課)

体育振興会、スポーツ推進委員会活動の支援(スポーツ推進課)

スポーツサークル、同好会等の活動場所の提供(市立公民館など)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- ニーズに応じた社会体育施設の利用効率の向上
- スポーツデーにおけるプログラムの充実
- スポーツ以外のイベントでのスポーツ体験の場の提供

### (3) 職域スポーツの推進

運動・スポーツの実施率が低い働き盛りの世代の健康づくりにとって、職場におけるスポーツ活動の取り組みは十分とは言えない。一方、保険医療費負担の軽減、社員の生産性や創造性向上の観点から、従業員の健康に配慮した職場環境を推進する「健康経営」に注目が集まっている。このような中、本市においても職域におけるスポーツ活動を支援する。

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 商工会議所と連携した働き盛り世代のスポーツ推進キャンペーン
- 職域スポーツモデル企業の選定などによる職域スポーツ活動の奨励

### (4) スポーツを通じた障がいのある人の社会参加の促進

障がいのある人がスポーツをする機会を充実するとともに、そこに参加を促す取り組みや、支える人材の育成を通じて障がいのある人のスポーツを通じた社会参加を支援する。

#### 【既存施策】

三島市障がい者スポーツ大会(障がい福祉課)

障がい者スポーツ指導員資格取得事業費補助(スポーツ推進課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 障がい者スポーツ体験会、教室、イベント等の拡充
- ユニバーサルスポーツ(健常者と一緒に楽しめるスポーツ種目)の普及支援
- 2020年東京パラリンピック開催を契機とした障がい者スポーツの認知促進
- 障がい者スポーツ指導員有資格者の活動支援

## 2.3 女性が輝くスポーツ環境の整備

子育て世代を中心に、女性のスポーツ参加率が低くなっている。要因として、いわゆる「スポーツ嫌い」のみならず、スポーツに参加する意欲はあるものの、参加しやすい場や教室などの運営システムが整備されていないこともその背景にあげられる。

スポーツは身体的な健康だけでなく、心のリフレッシュやストレス解消にも有益であり、子育て世代のスポーツ参加率向上のため、乳幼児を抱える母親世代を中心に女性のスポーツ環境の整備を推進する。



### (1) スポーツへの興味・関心を喚起する機会の創出

日常生活においてスポーツ活動とは無縁であり、スポーツ参加に関してあまり興味を示さない層に対して、美容や食など、女性の興味、関心を喚起するテーマを組み合わせたアプローチにより、スポーツの楽しさや健康づくり効果を実感し、スポーツ参加を促すきっかけづくりを行う。

#### 【既存施策】

市民主体のまちづくり活動費補助(政策企画課)

みしまタニタ健康クラブの普及(健康づくり課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 女性限定の美容スポーツ教室の開催
- 食とスポーツ(ヨガやダンス系エクササイズなど)をテーマにしたイベントの開催
- 同世代の女性が企画するスポーツエンタリー(入門)教室支援

### (2) 子育て世代のためのスポーツの場の拡充と情報提供

産後に身体の変調を訴える女性は多く、適切なスポーツ指導が求められている。この時期は、心身ともに健康で子育てをするためにも運動・スポーツが有効な時期であると同時に、日常生活でのスポーツを習慣化する好機でもある。このような観点から、産後の母親に対して、スポーツ習慣のきっかけとなる指導や情報提供を充実させ、子育て世代のスポーツの実施を支援する。

#### 【既存施策】

産前・産後ケアセミナー(健康づくり課)

体育施設指定管理者教室(スポーツ推進課)

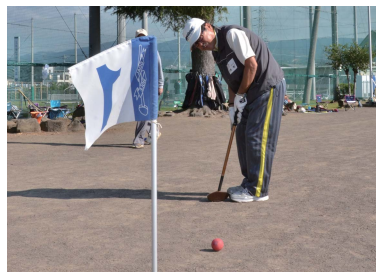
#### 【新たな取り組みの方向性】

- 子連れで参加できるスポーツ教室の開催(幼児向けと母親向けの教室の併催など)
- 託児サービスとスポーツ教室の連携
- スポーツ関連の女性サークルの活動支援
- スポーツ教室参加者が終了後も運動を継続するための情報提供

## 2.4 スポーツを通じた高齢者の生きがいがづくり

高齢者が生きがいを持ち、健康で充実した毎日を過ごすことができるよう、高齢者のスポーツ環境の整備を推進する。

高齢化の進展により、独居高齢者が増加し、引きこもりなどが社会問題化している中で、運動・スポーツを媒介とした社会参加の機会を創出する。



### (1) 高齢者が親しめる軽スポーツの普及

高齢者が、気軽に参加でき、健康の維持、増進を図るとともに、仲間同士の交流を促進することができる軽スポーツの普及を進める。

#### 【既存施策】

ゲートボール・グラウンドゴルフ・輪投げ大会(長寿介護課)  
 体育施設指定管理者による高齢者向け教室(スポーツ推進課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- ラジオ体操の奨励
- 各校区の体育振興会と連携したスポーツの普及活動
- ノルディックウオーキング<sup>(IV-3)</sup>の普及促進

### (2) マスターズスポーツの普及

高齢になっても競技スポーツに取り組むマスターズスポーツは、本人の生きがい創出だけでなく、健康長寿の具体的な目標となり、市民の健康づくりを啓発するモデルとしても重要な価値を持つ。東京オリンピック・パラリンピック開催の翌年には、生涯スポーツの国際総合競技大会「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催が決定していることから、今後、マスターズスポーツへの注目が高まっていくことが予想される。

こうした背景を受け、本市においても、高齢者が自分の体力や嗜好に応じて競技スポーツに取り組み、年齢にかかわらず自己の競技力の維持、向上が図れるよう支援する。

#### 【新たな取り組みの方向性】

- マスターズスポーツ教室の開催
- 各種スポーツ大会におけるシニア(高齢者)部門の設置奨励
- マスターズスポーツ啓発イベント(講演会や体験会など)の開催

(IV-3) ノルディックウオーキング: 左右2本のポールを使って歩行運動を行うもので、下半身だけでなく、腕、上半身の筋肉などの全身を使うことで効果的な有酸素運動となり、通常のウオーキングよりも運動効果を高めることができる。

## 2.5 スポーツ推進のための基盤整備

市民のスポーツ参加率を上げていくためには、スポーツの指導体制の充実が不可欠であることから、スポーツを指導する人材を育成していく。また、市民主体で行っているスポーツ活動を支援していくとともに、各種メディアとの連携やITの活用によって、スポーツ大会や教室等の情報を対象者に提供する仕組みを充実させ、スポーツを推進する基盤を充実する。



### (1) スポーツを推進する人材の育成

専門的な技能の習得、地域団体や他の組織との連携強化等により、地域スポーツの推進役としてのスポーツ少年団の指導者やスポーツ推進委員の活動の充実を図る。

また、スポーツ大会や各種イベントの開催を支えるスポーツボランティアの啓発や育成に取り組む。

#### 【既存施策】

スポーツ推進委員会活動(スポーツ推進課)

スポーツ少年団の支援(スポーツ推進課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 大学や専門機関などと連携した指導者の研修機会の充実
- スポーツボランティアの啓発と育成
- スポーツボランティアが活動する場の創出

### (2) 市民主体のスポーツ推進団体の支援

市民主体でスポーツを推進する場づくりや活動を行っている市民団体、サークル等を支援し、市民が気軽に参加できる機会の拡充を図る。

#### 【既存施策】

市民主体のまちづくり活動費補助(政策企画課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 活動の場づくりの支援や活動場所の紹介
- 団体やサークル間の情報交流の支援

### (3) 広報・情報提供機能の充実

多様化する市民ニーズに対応するため、世代によって様々な情報通信媒体の接触状況に応じた効果的な広報を展開する。

#### 【既存施策】

スポーツ団体の情報発信(スポーツ推進課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 地域情報誌、放送メディアとの連携推進
- 高度化する情報通信環境の変化に対応したスポーツ情報の発信



## 3. スポーツによる“健幸”都市づくり

### 3.1 トップスポーツの支援とチームとの連携促進

2019年ラグビーワールドカップの静岡開催、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催などによるスポーツに対する関心の高まりを背景に、全国、世界レベルで活躍する本市ゆかりの選手や新たな選手の育成を地域ぐるみで支援する。

また、地域に密着して活動するトップチームとの連携により「みるスポーツ」「支えるスポーツ」の活動を拡充させ、本市スポーツの底辺の拡大につなげるとともに、市民の地域への愛着や誇りの醸成を図る。



#### (1) ふるさとトップアスリートを支援する仕組みの整備

全国、世界で活躍する本市出身やゆかりの選手を地域ぐるみで支援する。

##### 【新たな取り組みの方向性】

- 全国、世界で活躍している選手の顕彰
- 地元企業や市民による支援体制の整備

#### (2) トップチームと連携したまちづくりの推進

市内に拠点を置く東レアローズ男子バレーボール部や、Jリーグ参入を目指して静岡県東部で活動するアスルクラロ沼津などのトップチームとの連携によって、地域のスポーツ競技力の向上、観戦機会の提供、競技スポーツの啓発などを効果的に推進し、チームの活動を支援するとともに、市民が身近にトップスポーツと触れ合える環境を整備する。

##### 【既存施策】

ホスタウン<sup>(IV-4)</sup>への登録(商工観光課)

##### 【新たな取り組みの方向性】

- 周辺市町と連携したトップチームの支援
- トップチーム、クラブとのパートナーシップ協定の締結
- 東レアローズと連携した2020年東京オリンピックにおける事前合宿チームの誘致

(IV-4) 2020年東京オリンピック・パラリンピックを機に、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を登録し、国が財政支援等を行うホスタウン構想において、2016(平成28)年1月に、ホスタウンとして、三島市を含む第一次登録の44件(申請件数69件)が発表された。

## 3.2 ウォーキングのまちづくり

市民の参加意欲が高いウォーキングを本市の市民スポーツの柱のひとつに位置づけ、自然や富士山の景観を活かした魅力的なウォーキングコースの整備を行うとともに、指導教室などの普及活動を推進し、市民の参加を促進する。また、観光施策と連携したウォーキングイベントの開催などを通じて「歩きたくなるまち」として情報発信することで、本市の新たな魅力づくりや交流人口の拡大につなげていく。



### (1) 楽しく歩ける機会と場づくり

歩きやすい歩道の整備や三島市の豊かな自然や歴史を楽しめるコースの設定など、個人やグループでウォーキングを楽しめる環境整備を推進するとともに、健康増進のための効果的な歩き方などの講座や体験イベントの開催などによって市民のウォーキングの参加を促進する。

#### 【既存施策】

ウォーキングの推進(健康づくり課、商工観光課)  
まち歩きアプリ「みしまあるく」の運用(健康づくり課)  
「箱根の里」ハイキングコース整備(生涯学習課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 新たなウォーキングコースの設定
- 健康ウォーキング教室の開催

### (2) ノルディックウォーキングの普及

本市の優れたウォーキング環境を、健康づくりや交流人口の拡大につなげるため、ノルディックウォーキングの普及を推進する。また、指導者研修の開催によって指導者の育成を行うとともに、資格取得者を中心に、自らノルディックウォーキングを実践しながら、地域での普及活動、イベントの指導を行う人材を育成する。

#### 【既存施策】

ノルディックウォーキングの普及(健康づくり課)  
ノルディックウォーキングコースの認定取得(健康づくり課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 専門機関と連携した資格制度の整備
- 認定コースの設定及び活用促進
- 指導者の育成

## 3.3 健康づくりの推進

スマートウェルネスシティ(“健幸”都市)の実現に向けた取り組みは、本市の重点施策のひとつである。そのビジョンに沿って、年代や健康ニーズに応じたスポーツプログラムを提供することで市民の心身の健康づくり施策を効果的に展開し、“健幸”都市の実現を目指す。



### (1) 日常生活におけるスポーツ習慣の啓発

気軽に参加できるスポーツ機会の創出や年代に応じた健康づくりプログラムの提供などにより、市民が生活の中で日常的に健康づくりに取り組む習慣を支援する。

#### 【既存施策】

- “健幸”マイレージの普及(健康づくり課)
- みしま体操の普及(健康づくり課)
- みしまタニタ健康クラブの普及(健康づくり課)
- みしま“健幸”塾の普及(健康づくり課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 早朝の軽スポーツ(ラジオ体操、ウォーキングなど)活動の推奨
- “健幸”マイレージの拡充

### (2) スポーツによる生活習慣病予防

民間企業との連携や有資格者を活用し、科学的根拠に基づく効果的な運動指導と継続支援を可能とする健康づくりプログラムを導入し、生活習慣病予防などにつなげる。

#### 【既存施策】

“健幸”運動教室(健康づくり課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 民間企業との連携促進
- 健康運動指導士など有資格者の活用

### (3) “健幸”長寿のためのスポーツ推進

高齢者が、転倒によって寝たきりになったり、身体機能低下から要介護状態となったりすることを予防するため、効果的なスポーツプログラムを導入した教室などを充実させるとともに、地域団体などと連携して参加率向上のための施策を展開する。

#### 【既存施策】

- ロコモ講座(健康づくり課)
- いきがい教室(長寿介護課)
- 通所型介護予防(長寿介護課)
- 介護予防の普及啓発(長寿介護課)
- 三島いきいきカレッジ(生涯学習課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 地域公民館や小学校など、身近な場を活用した教室などの開催
- 学術機関と連携した運動機能の調査、研究と実践プログラムの開発

## 3.4 スポーツを通じた地域の活性化

本市の資源・特性を活かしたスポーツツーリズムや県東部市町と連携したスポーツ関連産業を振興し、地域経済の活性化を図るとともに、活力あるスポーツ都市を目指す。

### (1) スポーツ大会や合宿の誘致、開催などによる交流人口の拡大

三島市スポーツ・文化コミッションを中心に、市外からの参加者の多いスポーツ大会の受入体制の充実と観光連携の促進や各種スポーツ大会、合宿の誘致、新たなスポーツ大会の創設支援を積極的に展開し、交流人口の増加や地域経済への波及効果の増大を図る。

#### 【既存施策】

三島市スポーツ・文化コミッションの推進(商工観光課)  
ホストタウンの登録(商工観光課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- スポーツ大会参加者に対する街のおもてなし体制の充実
- スポーツ大会等での観光や地場産品PRの拡充
- 大会・合宿誘致の仕組みづくり
- 新たなスポーツ大会の創設支援

### (2) シンボルイベントの開催

三島市の資源や特性を生かして、健幸都市みしまのシンボルとなるイベントを開催し、新たなにぎわいを創出する。

#### 【既存施策】

ウォーキングイベントの開催(商工観光課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 観光・交流型スポーツイベントの開催

### (3) 広域連携によるスポーツ関連産業の振興

様々なスポーツのフィールドとして大きな可能性を有する富士・箱根・伊豆地域の資源を最大限に生かし、県東部市町と連携して新たな市場を創出する取り組みを推進する。

#### 【既存施策】

静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会(E-Spo)の運営(商工観光課)  
伊豆マラソン大会の支援(スポーツ推進課)  
三島市4大ウォーキングの支援(商工観光課)  
駿豆線沿線広域ウォーキングの支援(商工観光課)

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 県東部におけるサイクルツーリズムの環境整備の促進
- 伊豆半島ジオパークを活用したアウトドアスポーツ旅行市場の開拓
- 2019年ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時における誘客

## 3.5 スポーツ施設の整備促進

市のファシリティマネジメント方針を踏まえて、本市が所有するスポーツ施設の適性化を図るとともに、市民ニーズを的確に捉え、スポーツ健幸都市のシンボルとなる施設や環境（公園や道路など）の整備を推進する。

### (1) 公共スポーツ施設の維持・管理

公共スポーツ施設について、市民利用の安全、安心を確保するため、適切な維持管理を行い、予防修繕等による施設の長寿命化を図る。

#### 【既存施策】

スポーツ施設管理・運営、修繕等（スポーツ推進課）

#### 【新たな取り組みの方向性】

- ファシリティマネジメントの推進
- 中長期的な施設の保全・整備計画の検討

### (2) 街中・街角スポーツ環境の整備

街中や街角で市民が手軽にスポーツ活動を行える環境整備を推進する。

#### 【既存施策】

ウォーキング・ノルディックウォーキングコースの整備（健康づくり課）

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 安全に歩行・走行できるウォーキング・ノルディックウォーキング、ジョギングコースの整備
- 遊休地などを活用したスポーツの場の整備
- 公園などでの軽スポーツ（体操、健康運動器具など）の場の整備

### (3) 市民ニーズに沿った施設の整備

財政計画との整合を図る中で、市民ニーズを踏まえたスポーツ健幸都市のシンボルとなる総合運動公園などの施設の整備を推進する。

#### 【既存施策】

総合運動公園可能性調査（スポーツ推進課）

体育施設の整備（スポーツ推進課）

#### 【新たな取り組みの方向性】

- 市民ニーズを踏まえたスポーツ施設整備の検討

## 4. 推進体制と計画の見直しについて

### 4.1 推進体制の整備

本計画の推進上の留意点と体制整備のポイントを以下に記す。

#### (1) 庁内の連携体制

本計画は、スポーツの推進のみならず、スポーツが持つ多面的な力を、各種行政課題の解決やまちづくりに生かしていくことも目的としており、施策の推進にあたっては、スポーツ推進担当課を中心に、教育、健康、福祉、産業振興、都市整備など、関連する部署が密接に連携することが求められる。

このため、関連する各部署に必要な応じて担当者を配置し、連絡会議などを開催する。

これにより、スポーツ関連施策についての情報共有を図るとともに、市全体としてスポーツ関連施策を効果的、効率的に推進するための調整などを行う。

#### (2) 官民の協働と役割分担

誰もが、自分の嗜好や生活様式にあわせて実り豊かなスポーツ活動を享受できるよう、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず幅広い市民がスポーツに参加できる環境を整備するためには、行政だけでなく、関連団体や民間事業者などが、それぞれの役割を分担しながら、連携、協働していくことが必要となる。

##### 1) 市の役割

スポーツ活動の場の整備、市民主体の取り組みの支援のほか、市(施設の指定管理者を含む)が自ら実施するサービスについては、民間事業者が取り組みにくい領域のサービス(広域での連携、障がい者スポーツなど)や無関心層への働きかけ、初心者向けの教室、新たなスポーツへの取り組み、普及などスポーツの裾野を広げる役割を担う。

##### 2) 民間事業者の役割

専門的で高度なサービスや特定の生活者ニーズに応えるサービスなどを提供することで、市民の恒常的なスポーツ活動を支援する役割を担う。

##### 3) 関連団体、NPO等の役割

個々の活動分野において、各団体が自主的、主体的に活動することで、対象とする市民に身近なスポーツの機会を提供する役割を担う。

### (3) 大学やトップチームとの連携

本市には、日本大学国際関係学部、順天堂大学保健看護学部が立地しており、両大学やその他の学術機関と連携することで、大学施設の利用や学生参加(スポーツボランティアなど)、専門分野の知見を生かした調査やスポーツプログラムの開発などが期待できる。

また、東レアローズ、アスルクラロ沼津など地域のトップクラブと連携することで、みるスポーツや子どもたちの競技力の向上、育成などについて、官民協働による効果的な推進を図ることが可能になる。

### (4) 広域連携による推進

少子化が進展する中で、たとえば競技人口の少ない競技の普及、強化については、本市単独で取り組むには限界があり、近隣市町と連携することが有効である。

また、自転車やマラソン、トレイルランなどフィールドが広範囲にわたるスポーツの環境の整備やイベント開催、大型スポーツ大会の受け入れなどについては、複数市町が連携した広域的な推進体制の整備が求められる。このようなことから、本市が事務局を担う静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会などを核として、周辺市町との有機的な連携体制を構築し、関連施策を推進していく。

## 4.2 計画の見直し

本計画は、教育、スポーツ分野の学識経験者、スポーツ関係団体、自治会、医師会の代表者などで構成する三島市スポーツ推進審議会において、毎年、主要施策の進捗状況の検証、評価を行い、その結果を施策に反映させていくことで、PDCAサイクルの構築を図る。

また、東京オリンピック・パラリンピックが開催される中間年度の2020(平成32)年度には、計画の達成状況を全般的に評価するとともに、その時点までの環境変化などを勘案し、計画策定の理念、趣旨に沿ってより効果的な推進が図れるよう、必要に応じて計画の見直しを行う。

## 5. 施策別の目標設定

上述した施策別の成果目標を、以下の通り設定して本計画を推進する。

### 5.1 次世代を担う子どもたちのスポーツ環境の整備

#### (1) 時代変化に対応したスポーツ環境の整備

- 1) スポーツ少年団活動等の充実
- 2) 地域における学校部活動の補完機能の整備
- 3) トップアスリートの発掘・育成システムの整備

成果目標	中学・高校生が活動可能な地域スポーツクラブ連絡会の設立	みしまジュニアスポーツアカデミー受講生の全国、国際レベルの大会への出場者数
	現状 なし	現状 0人
	H32 2020(平成32)年までに設立	H32 累計 2人
H37 連絡会活動を拡充	H37 累計 10人	

#### (2) スポーツ保育の普及

- 1) 乳幼児期の親子スポーツの啓発
- 2) 幼児期・学童期に楽しめるスポーツの推進
- 3) 幼稚園・保育園等との連携

成果目標	幼児期・学童期のスポーツ教室の参加者数
	現状 37,199人
	H32 37,600人
	H37 38,000人

### 5.2 暮らしを豊かにするコミュニティスポーツの推進

#### (1) 地域の絆を創る身近なスポーツ環境の整備

- 1) 学校体育施設開放の仕組みの充実
- 2) 公民館などのスポーツ利用の促進
- 3) スポーツを通じた地域の絆づくり

成果目標	市民運動会校区大会の実施校区数	公民館等を利用した地域スポーツ教室などへの講師派遣数
	現状 14	現状 0
	H32 14(維持)	H32 14
	H37 14(維持)	H37 28



## (2) 幅広くスポーツ参加を促す機会や場の提供

- 1) 各種スポーツ大会への参加促進
- 2) 多様なスポーツの体験機会の充実
- 3) 職域スポーツの推進
- 4) スポーツを通じた障がいのある人の社会参加の促進

成果  
目標

市内公共スポーツ施設の  
年間延べ利用者数

現状 61.1万人  
H32 62.0万人  
H37 63.0万人

## (3) 女性が輝くスポーツ環境の整備

- 1) スポーツへの興味・関心を喚起する  
機会の創出
- 2) 子育て世代のためのスポーツの場の  
拡充と情報提供

成果  
目標

子育て世代のスポーツ教室での  
託児サービス実施率

現状 0%  
H32 30%  
H37 50%

## (4) スポーツを通じた高齢者の生きがいづくり

- 1) 高齢者が親しめる軽スポーツの普及
- 2) マスターズスポーツの普及

成果  
目標

高齢者(70歳以上)の週1回以上の  
スポーツ実施率

現状 65.1%  
H32 70.0%  
H37 75.0%

## (5) スポーツ推進のための基盤整備

- 1) スポーツを推進する人材の育成
- 2) 市民主体のスポーツ推進団体の支援
- 3) 広報・情報提供機能の充実

成果  
目標

スポーツ推進委員のうち  
スポーツ指導者資格<sup>(IV-5)</sup>保有者数

現状 2人  
H32 延べ10人  
H37 延べ20人

(IV-5) 「障がい者スポーツ指導員」、「スポーツ保育リーダー」等の資格を対象とする。

## 5.3 スポーツによる“健幸”都市づくり

### (1) トップスポーツの支援とチームとの連携促進

- 1) ふるさとトップアスリートを支援する  
仕組みの整備
- 2) トップチームと連携したまちづくりの推進

成果  
目標

トップチームとの  
パートナーシップ協定の締結

現状 なし  
H32 2020(平成32)年までに2件  
H37 協定に沿った活動の拡充

### (2) ウォーキングのまちづくり

- 1) 楽しく歩ける機会と場づくり
- 2) ノルディックウォーキングの普及

成果  
目標

新たなノルディックウォーキング・  
ウォーキングコースの設定

現状 0  
H32 2コース  
H37 適切な維持管理

### (3) 健康づくりの推進

- 1) 日常生活におけるスポーツ習慣  
の啓発
- 2) スポーツによる生活習慣病予防
- 3) “健幸” 長寿のためのスポーツ推進

成果  
目標

大人の肥満(BMI25%)の割合

現状 男性24.8% 女性19.2%  
H32 男性20.0% 女性15.0%  
H37 2020(平成33)年度に見直し

### (4) スポーツを通じた地域の活性化

- 1) スポーツ大会や合宿の誘致、  
開催などによる交流人口の拡大
- 2) シンボルイベントの開催
- 3) 広域連携によるスポーツ関連産業  
の振興

成果  
目標

三島市への大会(合宿)・イベントの  
年間延べ誘致日数

現状 11日  
H32 30日  
H37 50日

### (5) スポーツ施設の整備促進

- 1) 公共スポーツ施設の維持・管理
- 2) 街中・街角スポーツ環境の整備
- 3) 市民ニーズに沿った施設の整備

成果  
目標

市民の公共スポーツ施設に対する  
満足度<sup>(IV-6)</sup>

現状 9%  
H32 12%  
H37 15%

(IV-6) 市民意識調査結果により把握する。  
現状数値は、「スポーツ・運動に関するアンケート調査」[2014(平成26年)実施]による。